

2019年11月18日

各 位

会 社 名 BEENOS株式会社
代表者名 代表取締役社長 直井 聖太
(コード：3328、東証第一部)
問合せ先 執行役員 松田 久典
(TEL. 03-5739-3350)

(訂正)「2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2019年11月7日 15時00分に発表した表記開示資料について一部訂正すべき事項がありましたのでお知らせします。

記

1. 訂正理由

「2019年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の提出後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、訂正を行うものであります。

2. 訂正箇所

- | | |
|-----------|---|
| 添付資料3ページ | 1. 経営成績等の概況
(1) 当期の経営成績の概況 |
| 添付資料21ページ | 5. 連結財務諸表及び主な注記
(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(セグメント情報等) |

3. 訂正の内容

訂正後と訂正前の添付資料を添付し、訂正箇所に下線を付しております。

以 上

【訂正後】

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①-3 リテール・ライセンス部門

「エンターテイメント事業」では、新規のアーティストの商品販売が好調に推移したことに加え、既存のアーティストの大型イベントの開催等により売上高は順調に増加しました。また、大手アニメ制作会社の公式ECサイトの運営を受託するなど、新たなコンテンツの取り扱いも開始しております。「グローバルプロダクト事業」では、ポケモンコスメシリーズの販売が好調に推移したほか、フレグランスボディケアブランドSWATi（スワティー）では、新商品のリリースや路面店ポップアップ、プロモーションの実施により認知度の向上を図るとともにブランドイメージの刷新に取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は4,937,295千円（前年比6.5%増）、営業利益は122,661千円（前年比1.3%増）となりました。

Eコマース事業全体では、当連結会計年度の売上高は23,031,417千円（前年比6.8%増）、営業利益は841,652千円（前年比32.4%減）となりました。

【訂正後】

5. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1、3	連結財務諸表 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュベ ーション事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,929,193	13,164,690	4,931,999	23,025,883	2,250,874	25,276,757	—	25,276,757
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	237	5,295	5,533	8,471	14,005	△14,005	—
計	4,929,193	13,164,928	4,937,295	23,031,417	2,259,345	25,290,763	△14,005	25,276,757
セグメント利益又 は損失(△)	725,989	△6,998	<u>122,661</u>	<u>841,652</u>	1,402,643	<u>2,244,295</u>	<u>△536,662</u>	1,707,633
セグメント資産	3,316,613	4,978,847	2,229,420	10,524,882	6,479,401	17,004,283	1,807,002	18,811,286
セグメント負債	1,585,918	685,874	2,084,565	4,356,358	308,651	4,665,010	3,974,804	8,639,815
その他の項目								
減価償却費	42,454	41,469	6,624	90,548	11,026	101,574	12,473	114,048
のれんの償却額	18,708	74,710	—	93,418	—	93,418	—	93,418
持分法適用会社 への投資額	—	—	—	—	109,612	109,612	36,935	146,547
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	12,953	13,089	2,626	28,669	51,233	79,903	4,587	84,491

(注) 1. セグメント利益の調整額△536,662千円には、セグメント間取引消去△1,824,377千円、各報告セグメントに配分していない全社収益2,200,508千円及び全社費用△912,793千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整1,807,002千円には、報告セグメントに区分していない全社資産の金額5,235,759千円、セグメント間取引消去△3,611,914千円が含まれております。全社資産の主なものとしましては、持株会社の現金及び預金、長期投資資金(投資有価証券)等であります。

【訂正前】

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

①-3 リテール・ライセンス部門

「エンターテイメント事業」では、新規のアーティストの商品販売が好調に推移したことに加え、既存のアーティストの大型イベントの開催等により売上高は順調に増加しました。また、大手アニメ制作会社の公式ECサイトの運営を受託するなど、新たなコンテンツの取り扱いも開始しております。「グローバルプロダクト事業」では、ポケモンコスメシリーズの販売が好調に推移したほか、フレグランスボディケアブランドSWATi（スワティー）では、新商品のリリースや路面店ポップアップ、プロモーションの実施により認知度の向上を図るとともにブランドイメージの刷新に取り組みました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は4,937,295千円（前年比6.5%増）、営業利益は61,209千円（前年比49.5%減）となりました。

Eコマース事業全体では、当連結会計年度の売上高は23,031,417千円（前年比6.8%増）、営業利益は780,199千円（前年比37.4%減）となりました。

【訂正前】

5. 連結財務諸表及び主な注記

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1、3	連結財務諸表 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュベ ーション事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	4,929,193	13,164,690	4,931,999	23,025,883	2,250,874	25,276,757	—	25,276,757
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	237	5,295	5,533	8,471	14,005	△14,005	—
計	4,929,193	13,164,928	4,937,295	23,031,417	2,259,345	25,290,763	△14,005	25,276,757
セグメント利益又 は損失(△)	725,989	△6,998	61,209	780,199	1,402,643	2,182,843	△475,209	1,707,633
セグメント資産	3,316,613	4,978,847	2,229,420	10,524,882	6,479,401	17,004,283	1,807,002	18,811,286
セグメント負債	1,585,918	685,874	2,084,565	4,356,358	308,651	4,665,010	3,974,804	8,639,815
その他の項目								
減価償却費	42,454	41,469	6,624	90,548	11,026	101,574	12,473	114,048
のれんの償却額	18,708	74,710	—	93,418	—	93,418	—	93,418
持分法適用会社 への投資額	—	—	—	—	109,612	109,612	36,935	146,547
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	12,953	13,089	2,626	28,669	51,233	79,903	4,587	84,491

(注) 1. セグメント利益の調整額△475,209千円には、セグメント間取引消去△1,762,925千円、各報告セグメントに配分していない全社収益2,200,508千円及び全社費用△912,793千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整1,807,002千円には、報告セグメントに区分していない全社資産の金額5,235,759千円、セグメント間取引消去△3,611,914千円が含まれております。全社資産の主なものとしましては、持株会社の現金及び預金、長期投資資金(投資有価証券)等であります。